

RYOBI

株主のみなさまへ

第96期 報告書

2007年4月1日から2008年3月31日まで



DIE CASTINGS ■



PRINTING EQUIPMENT ■

POWER TOOLS ■



BUILDERS' HARDWARE ■



あなたの暮らしの中で役立っています

12.3% 住建機器事業

この事業は、パワーツール（電動工具、園芸用機器等）と建築用品（ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等）で構成しています。

■パワーツール

本格的な住まいづくりからホビーまで、世界中のプロ・アマチュアに愛用されているリョービの電動工具。美しい庭づくりのための園芸用機

器など、リョービは多彩なパワーツールで、「創造するよろこび」をお手伝いしています。



芝刈機
LMR-2300

■建築用品

ドアを静かに確実に閉めるドアクローザ。ホテルなどの室温を快適に調節する空調制御システム。リョービは、安全で快適な住まいやオフィスを実現する建築用品を提供しています。



ドアクローザ 1000シリーズ

68.7% ダイカスト事業

リョービは、世界トップクラスのダイカストメーカー。シリンダーブロックやトランスミッションケースなどの自動車部品をはじめ、さまざまな産業分野にダイカスト製品を提供しています。



ダイカスト製品

連結売上高
構成比

19.0% 印刷機器事業

カタログ、ポスター、雑誌や美術書など、美しい印刷物をスピーディーに仕上げる高精度、多機能のオフセット印刷機。

リョービは、データ入稿から印刷、製本まで、ハード・ソフト両面から、印刷をトータルに支えています。



A全判高速オフセット多色印刷機
RYOBI 924

目次

| | | | | | |
|---------|---|--------|----|---------------|----|
| ごあいさつ | 2 | トピックス | 8 | 株式の概要 | 12 |
| 決算の要点解説 | 3 | 連結財務諸表 | 9 | 会社の概要・役員 | 13 |
| 事業の概況 | 5 | 単独財務諸表 | 11 | アンケート集計結果のご報告 | 14 |

ごあいさつ

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第96期（2008年3月期）報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

リョービグループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念としております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえない存在になることをめざしております。また、ダイカストと完成商品をあわせもつ企業として成長・発展し続けるために、競争力の強化、収益力の向上に努めております。

昨今、関心が高いCSR（企業の社会的責任）につきましては、リョービグループは企業理念を実践することがCSRの推進であると認識し、環境保全、社会貢献活動、コンプライアンスなどさまざまなCSR活動を行っております。また、CSRへの取り組みをこれまで以上に経営戦略に組み込み、CSR経営を充実するため、今年1月「リョービCSR推進委員会（委員長：浦上 浩）」を発足させました。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた安定した配当を継続することを基本としております。当期の期末配当金につきましては、先の定時株主総会でご承認いただきましたとおり、1株当たり6円（中間配当金6円とあわせて年間12円）といたします。支払開始日は6月26日といたします。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

2008年6月



代表取締役会長

浦上 浩

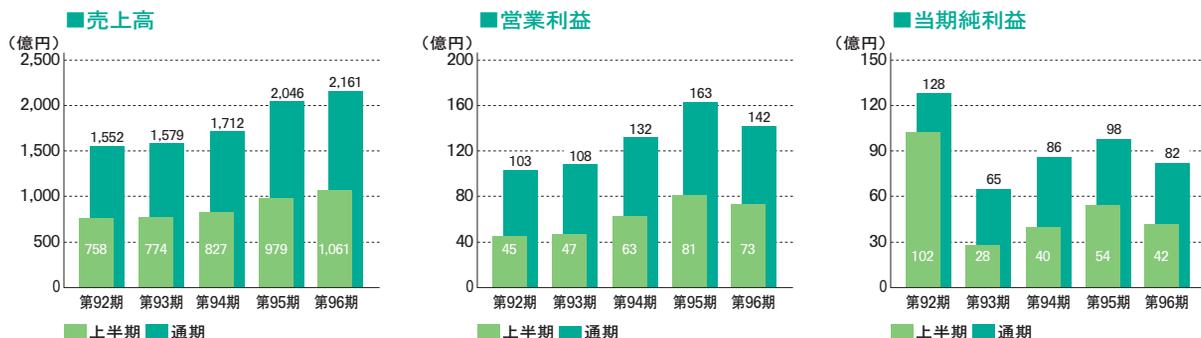
代表取締役社長

吉川 進

売上高は4期連続の増収

利益は原材料価格の高騰や減価償却費の負担増などにより減益

次期(2009年3月期)も増収ながら減益の見込み



■連結の業績推移

() 内は年・月

| 科目 | 第92期 (2003.4~2004.3) | 第93期 (2004.4~2005.3) | 第94期 (2005.4~2006.3) | 第95期 (2006.4~2007.3) | 第96期 (2007.4~2008.3) | 第97期見通し (2008.4~2009.3) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 売上高 (百万円) | 155,250 | 157,964 | 171,232 | 204,671 | 216,180 | 216,500 |
| 営業利益 (百万円) | 10,347 | 10,834 | 13,214 | 16,353 | 14,235 | 10,500 |
| 経常利益 (百万円) | 9,998 | 11,301 | 13,407 | 16,408 | 13,876 | 10,000 |
| 当期純利益 (百万円) | 12,812 | 6,581 | 8,635 | 9,877 | 8,207 | 5,900 |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 76.40 | 39.33 | 51.31 | 58.92 | 49.07 | 35.38 |
| 総資産 (百万円) | 160,574 | 157,420 | 177,864 | 202,528 | 195,971 | — |
| 純資産 (百万円) | 50,040 | 55,293 | 66,756 | 75,757 | 77,718 | — |
| 1株当たり純資産 (円) | 299.05 | 330.62 | 398.35 | 445.93 | 460.79 | — |

※第92期から第94期の純資産には「少数株主持分」を含んでおりません。

■ 売上高・利益の状況

当期(2008年3月期)のわが国経済は、設備投資の増加や雇用情勢の改善などがあったものの、原油や原材料価格の高騰、改正建築基準法による住宅着工件数の減少などにより景気の減速感が強まりました。特にサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱などによって、年明けから円高ドル安が急激に進行しました。米国経済は後退懸念が広がっており、国内外とも先行きの不透明感を増大しながら推移しました。

このような情勢のもとで、リョービグループは積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など、諸施策を実行しましたが、当期は連結・単独とも増収ながら減益となりました。

売上高はダイカスト、印刷機器、住建機器の全事業で伸ばし、連結では4期連続、単独では6期連続の増収となりました。利益については売上高の増加、コストダウンの推進、生産性の向上などに努めましたが、原材料価格の高騰や減価償却費の負担増などにより、連結・単独とも前期比減益となりました。

■ 資産・負債等の状況

当期(2008年3月期)の連結総資産は、前期末に比べ65億円減少しました。主な減少は現金及び預金の減少80億円、主な増加は有形固定資産の増加41億円などがあります。

受取手形割引高を除いた連結の有利子負債残高は前期末に比べ増加し、451億円となりました。

連結の純資産は、当期純利益による増加や配当金の支払いによる減少などにより777億円となりました。自己資本は768億円で、自己資本比率は39.2%となりました。連結の設備投資は、鋳造工場・印刷機器工場の新設及び増設、鋳造機械設備・加工設備の増強などにより148億円でした。

■ 次期(2009年3月期)の見通し

原油や原材料価格の高騰、米国経済の後退懸念、急激な為替変動など、景気に影響を与えるいろいろなリスク要因があります。このような厳しい状況ではありますが、リョービグループは商品開発力、製造力、販売力を高めるとともに、さらなるコストダウンや生産性向上の取り組みを一層徹底して、競争力の強化、収益力の向上をはかります。

現時点における次期の見通しは、連結・単独とも売上高は前期比ほぼ横ばいながら減益となる見通しです。売上高はダイカスト事業は増加しますが、印刷機器事業、住建機器事業は減少すると見込んでいます。利益の面では、前期に比べて原材料価格のさらなる高騰、減価償却費の増加、為替の円高による影響などにより減益を見込んでいます。

■ 単独の業績推移

| 科 目 | ()内は年・月 | | | | | |
|---------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
| | 第92期 (2003.4~2004.3) | 第93期 (2004.4~2005.3) | 第94期 (2005.4~2006.3) | 第95期 (2006.4~2007.3) | 第96期 (2007.4~2008.3) | 第97期見通し (2008.4~2009.3) |
| 売上高(百万円) | 106,418 | 112,387 | 126,390 | 154,666 | 164,024 | 166,000 |
| 営業利益(百万円) | 5,881 | 6,943 | 10,166 | 13,410 | 12,139 | 8,700 |
| 経常利益(百万円) | 6,415 | 7,908 | 11,092 | 14,415 | 12,525 | 9,100 |
| 当期純利益(百万円) | 9,110 | 4,505 | 6,751 | 8,341 | 7,624 | 5,400 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 54.23 | 26.87 | 40.02 | 49.72 | 45.58 | 32.38 |
| 総資産(百万円) | 124,449 | 121,828 | 137,088 | 155,566 | 152,673 | — |
| 純資産(百万円) | 46,375 | 49,363 | 58,190 | 63,725 | 65,685 | — |
| 1株当たり純資産(円) | 276.56 | 295.10 | 346.83 | 379.83 | 393.87 | — |

事業の概況

■ダイカスト事業

売上高は1,485億95百万円（前期比7.2%増）、営業利益は76億45百万円（同12.8%減）、売上高営業利益率は5.1%（前期は6.3%）となりました。

日米の自動車メーカー向けが堅調で増収となりました。利益については売上高の増加やコストダウンなどを進めましたが、原材料価格の高騰、減価償却費の負担増などにより減益となりました。

地球環境保護、省資源、省エネルギーは世界的なテーマであり、ダイカストはこれらを実現する有効な技術として、今後ますます成長することが期待されています。自動車分野はもとより、自動車以外の分野へも用途を拡大するとともに、コストダウン・生産性向上に一層注力します。

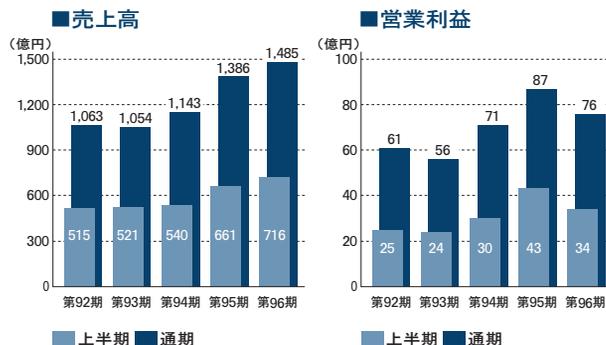
軽さとリサイクル性で、省エネルギー・省資源に貢献するダイカスト

当社は、金型の設計・製作から鋳造、加工、組立に至るまでを一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。

ダイカスト製品は、自動車をはじめ家電、OA機器、産業機械、建築用品などさまざまな分野の構成部品として使われています。また、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れ、省エネルギー、省資源の環境面からも注目されています。

特に、軽量化により低燃費をめざす自動車においては、エンジン、トランスミッションなど数多くの部品に当社のダイカスト製品が採用されています。本田技研工業株式会社様の「インスパイア」のシャーシフレームにも当社の製品（ベースブラケット*）が使われています。

*ベースブラケットは、エンジンとフレームを結合するために使用される部品です。



独自の技術

リョービの長年の技術を集約したダイカスト生産システム「リョービニューキャスティング (RNC)」は、ダイカスト製品の製造時に発生する内部欠陥（ガスの巻込み、ひげ巣など）を大幅に削減し、高強度・高品質なダイカスト製品の生産を実現しました。また、中空部品のダイカスト化を可能にした崩壊性中子「リョービインパーバーコア (RIC)」や、特殊アルミニウム合金を高真空中で鋳造することによりダイカスト製品の溶接・熱処理を実現するなど、リョービは独自の技術で、さまざまな機能部品のダイカスト化や高品質化に取り組んでいます。



ベースブラケット
(本田技研工業株式会社様の「インスパイア」へ搭載)

■ 印刷機器事業

売上高は409億63百万円（前期比2.8%増）、営業利益は49億40百万円（同15.8%減）、売上高営業利益率は12.1%（前期は14.7%）となりました。

国内販売は減少しましたが、アジアなど海外での売上を伸ばし増収となりました。利益については輸出が増加したものの、国内販売の減少や原材料価格の高騰などにより減益となりました。

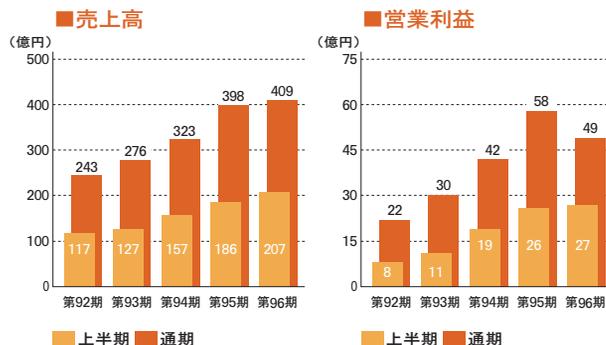
今後もユーザーニーズをとらえた商品開発、販売促進活動を積極的に行うとともに、コストダウンや生産性の向上をはかり、一層の収益拡大をめざします。

B1サイズ高速オフセット多色印刷機「RYOBI 1050シリーズ」を開発

これまで小型・中型オフセット印刷機で培ってきた技術とノウハウを結集してB1サイズ高速オフセット多色印刷機「RYOBI 1050シリーズ」を開発し、本格的に大型印刷機市場へ参入することを今年3月に発表しました。生産性、品質、操作性などを徹底追求して開発した1050シリーズは、5月にドイツで開催された世界最大規模の国際総合印刷機材展「drupa（ドルッパ）2008」に出展し、注目を集めました。12月の発売に向け、お客様の期待も高まっています。



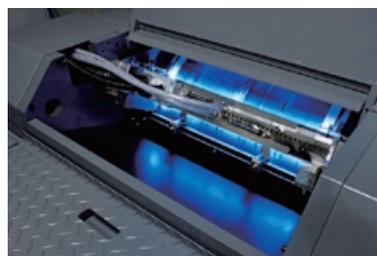
RYOBI 1050



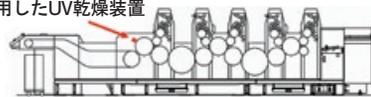
環境負荷を低減した印刷システム！

東洋インキ製造株式会社と共同で、省エネルギーで環境負荷が少ない「LED-UV印刷システム」を世界で初めて*開発しました。このシステムはUVインキを乾燥させる装置にLED（発光ダイオード）を採用し、LED専用のUVインキを使用して印刷するものです。UV乾燥装置の光源を従来のランプ方式に替えてLED方式を採用したことで、光源の寿命が約12倍長くなり、消費電力量も70～80%削減することができます。省エネルギー、環境負荷低減を実現するUV印刷方式として期待されています。

*2008年1月末現在、当社調べ。



LEDを採用したUV乾燥装置



A3判高速オフセット印刷機「RYOBI 525GX」

事業の概況

■ 住建機器事業

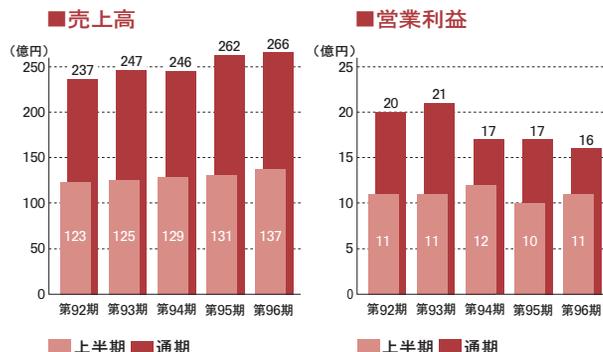
売上高は266億21百万円（前期比15%増）、営業利益は16億49百万円（同3.8%減）、売上高営業利益率は6.2%（前期は6.5%）となりました。

競争がますます激化する中で、パワーツール、建築用品とも若干売上を伸ばしましたが、利益の面では減益となりました。今後も海外で生産する強みを活かしてコストダウンや生産の効率化を進め、価格競争力のある商品、特長のある商品を提供していきます。

特殊ゲル装着の充電式インパクトドライバ

作業者の手にかかる負担を軽減し、小型・軽量・コンパクトを追求したプロ向け充電式インパクトドライバ*「**BID-143**」と「**BID-1440**」を発売しました。この新商品は、グリップ部に衝撃・熱吸収材（特殊ゲル）を装着して、手に伝わる振動や衝撃、熱を緩和します。また、当社の充電式インパクトドライバの中では、ヘッドの全長は最短、重さは最軽量で、ネジ締め作業がスピーディーに行えます。

*インパクトドライバは、長いネジや太いネジ、ボルトなど強い締付力を必要とするネジ締め作業に使用します。



高温多湿の環境に強い引戸クローザ

浴室用ドアに使用しても安定した開閉ができる引戸クローザ「**SL-2 AQタイプ**」を発売しました。浴室は湯気が充満するため、引戸クローザには高温への対応と耐食性の向上が必要です。この新商品は、高温でも安定した性能を発揮する速度調整装置と耐食性に優れた材料の採用や特殊表面処理により、高温多湿の環境に対応します。



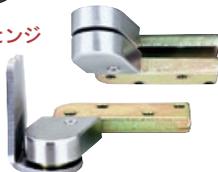
あなたのくらしの中で役立っています



① ドアクローザ



② ピボットヒンジ



③ 芝刈機



④ バリカン



トピックス

■ 特定非営利活動法人リョービ社会貢献基金の活動

リョービ社会貢献基金では、社会貢献活動の一環として社会福祉施設やボランティア団体などへの物品寄贈や活動資金の援助などを行っています。

2007年度は、11カ所の社会福祉協議会へ軽自動車1台、車椅子25台、介護用品などを寄贈し、8つのボランティア団体へ活動資金を援助しました。また、新潟県中越沖地震の被災地に日本赤十字社を通じて義援金を贈りました。



■ 広島東工場の生産能力を增強

広島東工場では、ダイカスト事業および印刷機器事業の生産能力の強化と生産効率の向上をめざし、生産設備の增強を進めています。

ダイカスト事業については、これまで加工工場の増築や鋳造工場を新築して鋳造工程と後工程(仕上、加工・組立、検査、出荷)を一貫して行う体制を整備してきました。さらに、2008年2月には金型工場(延べ床面積約2,260㎡)が完成し、金型の保全と保管、新型の組立と出荷の体制を強化しました。

また、印刷機器事業については、2007年8月に第2工場の増築工事が完了しました。第2工場の延べ床面積は約19,300㎡となり、生産能力は2006年3月時点の約2倍になりました。受注から生産、出荷までのリードタイムの短縮を実現するとともに、ミクロン単位の加工・組立精度を保つために必要な工場内の温度・湿度管理には、年間を通じてほぼ一定の地中温度の特性を利用した空調設備を採用し、CO₂の削減や省エネルギーにも対応した工場として稼働しています。



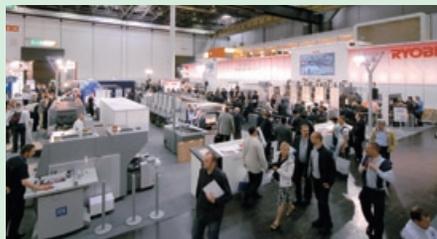
広島東工場の全景

■ 国際総合印刷機材展「drupa 2008」に出展

2008年5月29日～6月11日の2週間、4年に一度開催される世界最大規模の国際総合印刷機材展「drupa(ドルッパ)2008」がドイツのデュッセルドルフで開催されました。

当社は過去最大となる1,300㎡のスペースに今年3月に発表したB1サイズ高速オフセット5色印刷機「RYOBI 1050-5」を始め、「RYOBI 750シリーズ」などの主力の印刷機(8機種)や最新の周辺機器を展示し、お客様の仕事やニーズに合わせた最適な印刷システムを提案しました。

当社のブースには世界各国から連日大勢のお客様が来場され、当社の商品に対して高い評価をいただき、今後の販売に大きく期待が持てる展示会となりました。



drupa2008の風景

連結財務諸表

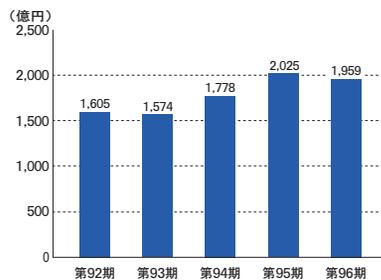
貸借対照表 (2008年3月31日現在)

(単位：百万円)

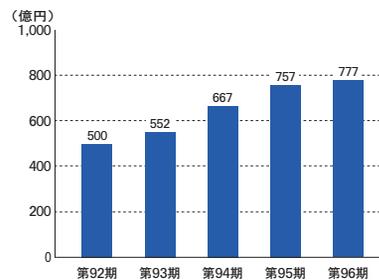
| 【資産の部】 | | | |
|-------------|----------------|----------------|--|
| 科目 | 当期 | 前期 | |
| ●流動資産 | 102,171 | 110,574 | |
| 現金及び預金 | 8,925 | 17,004 | |
| 受取手形及び売掛金 | 43,292 | 47,130 | |
| 有価証券 | 3,514 | 2,908 | |
| たな卸資産 | 41,855 | 38,398 | |
| 繰延税金資産 | 1,604 | 2,161 | |
| その他 | 3,040 | 3,025 | |
| 貸倒引当金 | △ 61 | △ 54 | |
| ●固定資産 | 93,800 | 91,954 | |
| 有形固定資産 | 77,163 | 73,028 | |
| 建物及び構築物 | 20,791 | 19,566 | |
| 機械装置及び運搬具 | 29,411 | 27,214 | |
| 土地 | 21,699 | 21,325 | |
| 建設仮勘定 | 2,621 | 2,226 | |
| その他 | 2,639 | 2,695 | |
| 無形固定資産 | 2,254 | 1,990 | |
| 投資その他の資産 | 14,382 | 16,936 | |
| 投資有価証券 | 10,649 | 13,257 | |
| 繰延税金資産 | 1,711 | 1,472 | |
| その他 | 2,064 | 2,252 | |
| 貸倒引当金 | △ 43 | △ 45 | |
| 資産合計 | 195,971 | 202,528 | |

| 【負債の部】 | | | |
|------------------|----------------|----------------|--|
| 科目 | 当期 | 前期 | |
| ●流動負債 | 89,066 | 99,057 | |
| 支払手形及び買掛金 | 43,570 | 49,956 | |
| 短期借入金 | 27,493 | 24,114 | |
| 未払法人税等 | 2,049 | 5,092 | |
| 賞与引当金 | 2,192 | 2,319 | |
| 役員賞与引当金 | 42 | 43 | |
| その他 | 13,718 | 17,531 | |
| ●固定負債 | 29,186 | 27,713 | |
| 長期借入金 | 17,663 | 14,217 | |
| 繰延税金負債 | 1,698 | 3,283 | |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 674 | 674 | |
| 退職給付引当金 | 6,320 | 6,549 | |
| 持分法適用に伴う負債 | 411 | 409 | |
| その他 | 2,418 | 2,579 | |
| 負債合計 | 118,252 | 126,771 | |
| 【純資産の部】 | | | |
| ●株主資本 | 80,031 | 75,534 | |
| 資本金 | 18,472 | 18,472 | |
| 資本剰余金 | 23,750 | 23,750 | |
| 利益剰余金 | 39,234 | 34,043 | |
| 自己株式 | △ 1,425 | △ 731 | |
| ●評価・換算差額等 | △ 3,187 | △ 719 | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,094 | 5,144 | |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 40 | △ 25 | |
| 土地再評価差額金 | 626 | 626 | |
| 為替換算調整勘定 | △ 6,867 | △ 6,464 | |
| ●少数株主持分 | 874 | 942 | |
| 純資産合計 | 77,718 | 75,757 | |
| 負債及び純資産合計 | 195,971 | 202,528 | |

総資産



純資産



※第92期から第94期の純資産には「少数株主持分」を含んでおりません。

■ 損益計算書 (2007年4月1日から2008年3月31日まで) (単位: 百万円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|-------------|---------|---------|
| ●売上高 | 216,180 | 204,671 |
| ●売上原価 | 177,529 | 164,519 |
| 売上総利益 | 38,651 | 40,151 |
| ●販売費及び一般管理費 | 24,416 | 23,798 |
| 営業利益 | 14,235 | 16,353 |
| ●営業外収益 | 1,701 | 1,529 |
| ●営業外費用 | 2,061 | 1,473 |
| 支払利息 | 1,120 | 815 |
| その他の営業外費用 | 940 | 658 |
| 経常利益 | 13,876 | 16,408 |
| ●特別利益 | 18 | 965 |
| 固定資産処分益 | 18 | 6 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | 772 |
| その他の特別利益 | — | 186 |
| ●特別損失 | 256 | 1,120 |
| 固定資産処分損 | 176 | 347 |
| 投資有価証券売却損 | 75 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 3 | 9 |
| 役員退職慰労金 | — | 763 |
| 税金等調整前当期純利益 | 13,639 | 16,253 |
| ●法人税等 | 5,442 | 6,353 |
| ●少数株主損益 | △ 10 | 23 |
| 当期純利益 | 8,207 | 9,877 |

■ キャッシュ・フロー計算書 (2007年4月1日から2008年3月31日まで) (単位: 百万円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|----------------------|----------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 7,834 | 22,119 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 18,649 | △ 17,702 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,376 | △ 3,120 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 34 | 217 |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少: △) | △ 7,473 | 1,514 |
| 現金及び現金同等物期首残高 | 17,611 | 16,097 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 10,138 | 17,611 |

■ 株主資本等変動計算書 (2007年4月1日から2008年3月31日まで) (単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | | | 少数株主 持分 | 純資産 合計 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------|-------------|--------------|--------------|----------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他の有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| ●2007年3月31日残高 | 18,472 | 23,750 | 34,043 | △ 731 | 75,534 | 5,144 | △ 25 | 626 | △ 6,464 | △ 719 | 942 | 75,757 |
| ●当期中の変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △3,016 | | △3,016 | | | | | | | △3,016 |
| 当期純利益 | | | 8,207 | | 8,207 | | | | | | | 8,207 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 693 | △ 693 | | | | | | | △ 693 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 0 | 0 | | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額) | | | | | | △2,050 | △ 14 | — | △ 402 | △2,467 | △ 68 | △2,536 |
| 当期中の変動額合計 | — | 0 | 5,191 | △ 693 | 4,497 | △2,050 | △ 14 | — | △ 402 | △2,467 | △ 68 | 1,961 |
| ●2008年3月31日残高 | 18,472 | 23,750 | 39,234 | △1,425 | 80,031 | 3,094 | △ 40 | 626 | △6,867 | △3,187 | 874 | 77,718 |

単独財務諸表

■ 貸借対照表 (2008年3月31日現在) (単位: 百万円)

| [資産の部] | | |
|-----------|---------|---------|
| 科目 | 当期 | 前期 |
| ●流動資産 | 85,841 | 92,012 |
| ●固定資産 | 66,832 | 63,554 |
| 有形固定資産 | 40,578 | 37,963 |
| 無形固定資産 | 777 | 465 |
| 投資その他の資産 | 25,476 | 25,125 |
| 資産合計 | 152,673 | 155,566 |
| [負債の部] | | |
| ●流動負債 | 67,034 | 74,429 |
| ●固定負債 | 19,954 | 17,412 |
| 負債合計 | 86,988 | 91,841 |
| [純資産の部] | | |
| ●株主資本 | 62,691 | 58,776 |
| 資本金 | 18,472 | 18,472 |
| 資本剰余金 | 23,654 | 23,654 |
| 利益剰余金 | 21,990 | 17,382 |
| 自己株式 | △ 1,425 | △ 731 |
| ●評価・換算差額等 | 2,993 | 4,948 |
| 純資産合計 | 65,685 | 63,725 |
| 負債及び純資産合計 | 152,673 | 155,566 |

■ 損益計算書 (2007年4月1日から2008年3月31日まで) (単位: 百万円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|--------------|---------|---------|
| ●売上高 | 164,024 | 154,666 |
| ●売上原価 | 136,167 | 126,603 |
| 割賦販売損益繰延前総利益 | 27,857 | 28,062 |
| ●割賦販売損益繰延金 | — | △ 442 |
| 割賦販売損益繰延後総利益 | 27,857 | 28,505 |
| ●販売費及び一般管理費 | 15,717 | 15,095 |
| 営業利益 | 12,139 | 13,410 |
| ●営業外収益 | 1,549 | 1,870 |
| ●営業外費用 | 1,163 | 864 |
| 経常利益 | 12,525 | 14,415 |
| ●特別利益 | 74 | 775 |
| ●特別損失 | 47 | 930 |
| 税引前当期純利益 | 12,553 | 14,260 |
| ●法人税等 | 4,928 | 5,918 |
| 当期純利益 | 7,624 | 8,341 |

■ 株主資本等変動計算書 (2007年4月1日から2008年3月31日まで) (単位: 百万円)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算 差額等 | 純資産 合計 |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| ●2007年3月31日残高 | 18,472 | 23,654 | 17,382 | △ 731 | 58,776 | 4,948 | 63,725 |
| ●当期中の変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △3,016 | | △3,016 | | △3,016 |
| 当期純利益 | | | 7,624 | | 7,624 | | 7,624 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 693 | △ 693 | | △ 693 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 0 | 0 | | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額) | | | | | | △1,955 | △1,955 |
| 当期中の変動額合計 | — | 0 | 4,607 | △ 693 | 3,914 | △1,955 | 1,959 |
| ●2008年3月31日残高 | 18,472 | 23,654 | 21,990 | △1,425 | 62,691 | 2,993 | 65,685 |

株式の概要

- 発行可能株式総数 …………… 500,000千株
- 発行済株式の総数…………… 171,230千株
- 自己株式保有数…………… 4,462千株
- 株主数…………… 11,315名
- 株式の上場…………… 東京証券取引所

■ 大株主

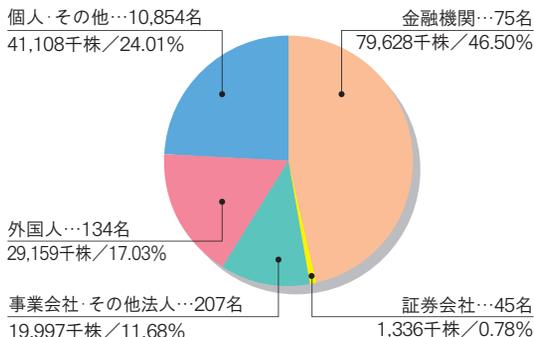
| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|-------------------------------|----------|---------|
| | 持株数(千株) | 出資比率(%) |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 11,619 | 6.78 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 9,300 | 5.43 |
| 第一生命保険相互会社 | 8,067 | 4.71 |
| 日本生命保険相互会社 | 7,823 | 4.56 |
| 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口) | 6,685 | 3.90 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 6,523 | 3.80 |
| 財団法人浦上奨学会 | 5,280 | 3.08 |
| 菱工会持株会 | 5,257 | 3.07 |
| サジヤツブ | 4,174 | 2.43 |
| 住友信託銀行株式会社 | 3,503 | 2.04 |

(注) 当社は、自己株式4,462千株を保有しております。

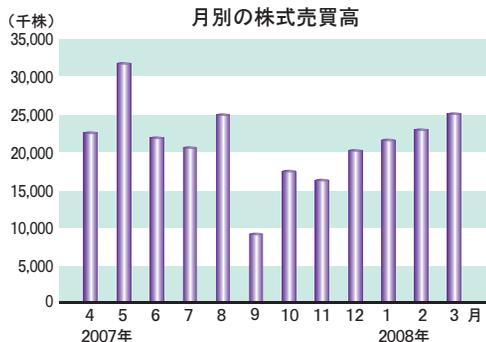
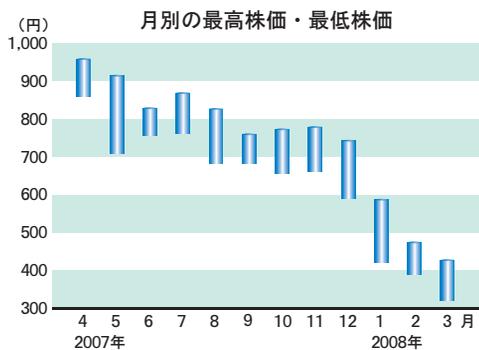
■ 配当金(1株当たり)

| | 第92期 | 第93期 | 第94期 | 第95期 | 第96期 |
|-------|-------|-------|------|------|------|
| 中間配当金 | — | — | — | — | 6円 |
| 期末配当金 | 7円50銭 | 7円50銭 | 10円 | 12円 | 6円 |
| 年間配当金 | 7円50銭 | 7円50銭 | 10円 | 12円 | 12円 |

■ 株式分布状況(所有者別) 合計 11,315名/171,230千株



■ 株価及び株式売買高の推移



会社の概要・役員

会社の概要

- 社名……リョービ株式会社
- 英文社名……RYOBI LIMITED
- 創立年月日……1943年12月16日
- 資本金……184億7,219万円
- 社員数……2,145名
- 主要商品……ダイカスト製品
印刷機器（オフセット印刷機、印刷周辺機器等）
パワーツール（電動工具、園芸用機器等）
建築用品（ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等）

事業拠点

- 本社…〒726-8628 広島県府中市目崎町762 ☎(0847) 41-1111
- 東京支社…〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8 ☎(03) 3927-5541
- 虎ノ門オフィス…〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-1
虎ノ門セントラルビル ☎(03) 3927-5541
- 大阪支店…〒569-1135 大阪府高槻市今城町24-12 ☎(072) 685-1124
- 営業所…札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡
- 広島工場…〒726-8628 広島県府中市目崎町762 ☎(0847) 41-1111
- 広島東工場…〒726-0002 広島県府中市鞆町800-2 ☎(0847) 40-1600
- 静岡工場…〒421-3292 静岡県静岡市清水区蒲原5215-1
☎(054) 385-3101
- 印刷機器工場…〒726-0023 広島県府中市栗柄町444-1 ☎(0847) 45-5871

主なグループ会社

●ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社
リョービミツギ株式会社
株式会社東京軽合金製作所
生野株式会社
RYOBI DIE CASTING (USA), INC.
RDCM, S. de R. L. de C. V.
RYOBI ALUMINIUM CASTING
(UK), LIMITED
利優比压铸（大連）有限公司

●印刷機器事業

リョービイマジクス株式会社

●住建機器事業

リョービ販売株式会社
リョービパワーツール株式会社
利優比（大連）机器有限公司

(2008年6月25日現在)

役員

取締役

- 代表取締役 浦上 浩
代表取締役 吉川 進
取締役 田中 孝雄
取締役 横山 隆志
取締役 石井 浩司
取締役 浦上 彰
取締役 鈴木健二郎
取締役(社外) 大岡 哲

監査役

- 常勤監査役 小林 照三
監査役(社外) 加藤 大朗
監査役 三船 強
監査役(社外) 黒澤 泉

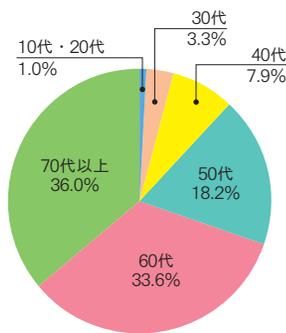
執行役員

- 会長 浦上 浩
社長 吉川 進
常務執行役員 田中 孝雄
常務執行役員 横山 隆志
執行役員 石井 浩司
執行役員 鈴木健二郎
執行役員 伊東 邦侑
執行役員 本川 直道
執行役員 檀上 和秋
執行役員 大澤 章治
執行役員 堂本 秀樹
執行役員 川口 裕幸
執行役員 鈴木 隆

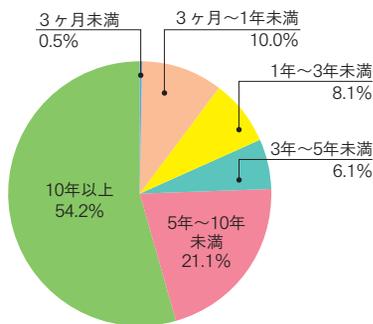
アンケート集計結果のご報告

2007年12月、第96期中間報告書に同封してお送りしましたアンケートにつきまして、1,794名(回答率16.6%)の株主の皆様からご回答をいただきました。心より厚くお礼申しあげます。お寄せいただきましたご回答の集計結果の一部をご報告させていただきます。

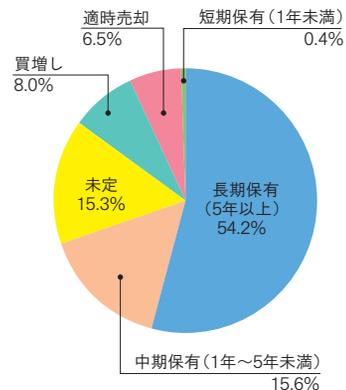
■ 回答者の年齢



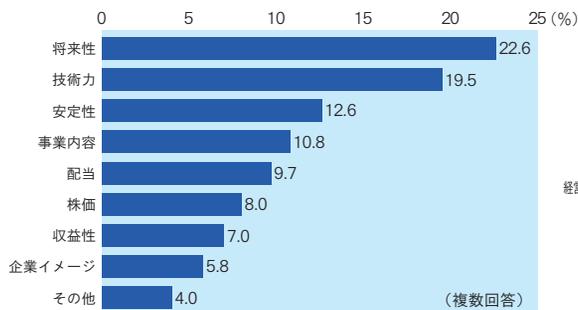
■ 当社株式の保有期間



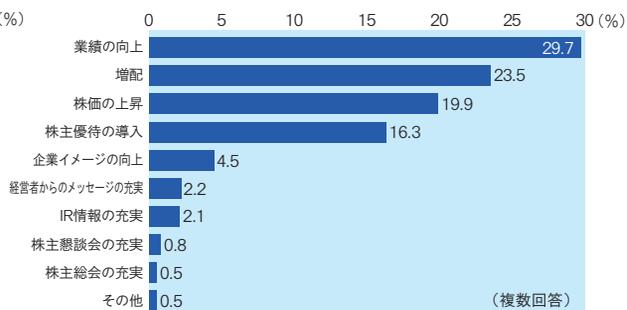
■ 当社株式の保有について、今後どのようにお考えですか



■ 当社株式を購入された理由をお聞かせください



■ 当社株式を長期で保有していただくために必要なことは何ですか



ご回答いただきましたご意見・ご要望等は、今後の経営やIR活動の参考にさせていただきたいと思っております。今後ともご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

「くらしごこち」がテーマです。



■ 株式事務についてのご案内

- 決算期 3月31日
- 基準日 定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 6月中
- 公告の方法 電子公告「<http://www.ryobi-group.co.jp/>」
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜1-1-5
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 郵便物送付先及び電話照会先 〒530-0004
大阪市北区堂島浜1-1-5
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
Tel. 0120-094-777(フリーダイヤル)
※株式関係のお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ
信託銀行の電話及びホームページでも24時間承って
おります。
本店証券代行部 Tel. 0120-244-479(フリーダイヤル)
大阪証券代行部 Tel. 0120-684-479(フリーダイヤル)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店
- 単元未満株式買取り請求
及び買増し請求場所 単元未満株式(当社の場合1,000株未満の株式)の
買取り及び買増しをご希望の方は、上記の株主名
簿管理人、同事務取扱場所及び同取次所にご連絡
ください。

リョービホームページでは、IRや商品等の最新情報に加えて、事業内容等を映像(動画)で紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.ryobi-group.co.jp/>

■ 株券の電子化についてのご案内

2009年1月に予定されている株券電子化が実施されると上場会社の株券は無効となり、株主の権利は電子的に証券会社などの金融機関の口座で管理されます。このとき、株券の名義がご本人以外の名義になっている場合、株主の権利を失う恐れがありますので、早急にご本人名義への名義書換をお願いいたします。また、ご本人名義の株券をお手元にお持ちの場合、株式の売買が簡便にできなくなるため、お早めに証券会社を通じて証券保管振替機構(ほふり)に株券を預け入れられることをお勧めいたします。詳細は、同封のリーフレットをご覧ください。

RYOBI リョービ株式会社

本 社 〒726-8628 広島県府中市日崎町762
Tel. (0847) 41-1111

東京支社 〒114-8518 東京都北区豊島5-2-8
Tel. (03) 3927-5541

※この報告書はリョービ書体を使用し、リョービの印刷機で印刷しています。無断複製・転載等を禁止します。

証券コード 5851